

短期大学部

造形学科

■教育の目標

学生の発想の幅を広げ、実社会での応用力を持った人材を育成します。

■学科の特長

幅広い専門科目と実技科目を置き、現代の多様化する美術、デザインの表現領域を多角的にとらえたカリキュラムとなっています。本人の体験を通して専門分野を絞り込むことができるように選択制を取り入れ、1年次前期は専門領域を限定しないことにより学生はさまざまな表現領域を体験することができます。この事により、後期以降各自が選択する専門領域において、前期に選択した実技経験を活かし個々の専門領域を見極め、より高度な知識・技術を集中的に習得することができます。

そして、卒業後は専攻科への進学や、芸術学部3年次への編入学の道も開かれています。また、芸術学部・短期大学部の間には単位互換協定があり、一部の授業は相互に履修することが可能になっています。

■カリキュラムの概要

1年次前期の実技科目は、18種類の科目から4科目を選択。個々が志す領域に直結した授業を選ぶことはもとより、あえて異なる領域の授業を履修することで自己表現の方法に幅を持たせることが可能となり、自分の個性を見つけ出す第一歩となります。

後期からは、前期で体験した授業を基に、美術コース・デザインコース（グラフィック・メディア・テキスタイル・スペース）の中から専門領域・分野を選択し、より専門性の高い知識や技術を集中的に習得し、感性を磨いていきます。2年次後期からの卒業制作では、それまで培った知識や技術や表現力をもとに、自己の表現の可能性を探る大切な時間となります。それは2年間の集大成であるとともに、社会に出て活躍するための出発点でもあります。

卒業条件

本学を卒業するために必要な最低修得単位は次の通りです。
卒業を認定された者は、短期大学士（芸術）の学位が授与されます。

I 共通科目	A群	知性と感性を高める科目群	6単位以上	24 単位
	B群	コミュニケーション能力を高める科目群	2単位以上 <u>外国語科目2単位選択必修含む</u>	
	C群	こころと身体の健康を高める科目群	2単位以上	
	D群	文化・芸術の科目群	6単位以上	
	E群	自己を見つめ社会への視野を開く科目群	4単位以上 <u>基礎学習ゼミ2単位必修含む</u>	
II 専門科目	必修科目・選択必修科目			38 単位
卒業所要単位 合計				62 単位

本学では、十分な学習時間を確保するため、1年間で修得できる単位の上限を1年次42単位、2年次49単位としています。

なお、以下の科目は履修上限単位に含みません。

共通科目E群「サービス・ラーニング」「インターンシップA～D」「国際留学プログラム」
「キャリア形成※」、専攻科「臨床美術」、「インターンシップII A～D」資格科目

※1年次生のみ

履修登録の際は、総単位数の合計を越えないよう履修科目の調整をしてください。

共通科目（A群～E群）

共通科目は、短大生としてだけでなく、社会人としても不可欠な、広く一般常識をもってしっかりと思考する能力を身につけるための講義・演習科目群と、美術・デザインを専門とする学生が身につけるべき美術芸術科目群によって構成されています。知性と感性を含めた心的能力を高める科目群（A群）、コミュニケーション能力を高める科目群（B群）、こころと身体を健康を高める科目群（C群）、文化・芸術の科目群（D群）、自己を見つめ社会への視野を開く科目群（E群）の5つの群から構成されています。

学生の皆さんは、いったん自分の専門分野から離れ、各群の多彩な科目の中から、自分の興味関心にしたがって主体的に科目を選択し、それらの科目の背後に広がる多様な学問的視点や知見を学び取ることによって、学生としての基礎的教養力を自分のものにすることができるようでしょう。また、そうした能力を、努力し身につけることによって、自分の専門分野をさらに究め、飛躍していくための土台を築くことにもなるでしょう。

< A群～E群科目一覧 > P.37参照

A群 知性と感性を高める科目群

A群の科目は、学生がゆるぎない知的教養と鋭敏な感性を身につけ、さらにそれを磨くことができるよう、さまざまな分野のものの考え方や見方を提供することを目的としています。したがって、この群は、現代の文化・社会・科学にかかわる基本的学問によって構成されています。

A群は、選択の講義科目ですから、必要単位を上回る単位数をとることが可能ですし、自由に選択できる単位数の範囲内で履修することができます。

したがって、学生の皆さんが、自分の関心に基づいて自主的に科目を選択し、積極的に授業に参加することが期待されます。

B群 コミュニケーション能力を高める科目群

コミュニケーション論の学習は言うまでもなく、外国語学習やコンピュータ学習は、基本的なコミュニケーションを成立させるための必須のものです。外国語は外国人とコミュニケーションするための、また、異文化を知るための主要な手段ですが、直接外国人との接触に役立つものであり、外国語の独特の論理を知ることで、異質な論理、すなわち、異文化を知ることができます。

また、コンピュータはもはや言うまでもなく生活、仕事に欠かすことのできない必須のツールです。コンピュータ・リテラシーを身につけることで、生活、仕事におけるコミュニケーション能力を向上させることができます。

C群 こころと身体の健康を高める科目群

C群は、こころと身体に関する知識を深めることで、生涯を通して健やかで充実した生活を送り、QOL（生活の質）の高い日々を実現していただくための基礎的な能力を養うことを目的としている科目群です。丈夫でしなやかなこころと身体があればこそ、創作意欲も湧き、エネルギーあふ制作活動も可能です。また、人生100年時代を豊かに生きていくためには健康であることはもちろん、困難に直面した際にはそれに対応する心身の余力が必要となるでしょう。自身のからだを自身で育むために必要な知識と実践方法を身につけていきましょう。

開講科目と履修について

C群には、演習系科目の「健康科学」「スポーツ演習A～D」と、講義系科目の「子どもの保健・食・栄養」があります。

「健康科学」は、実技（運動）だけでなく講義も交えた演習で、心身の健康に関する理論と具体的な実践方法を併せて学習することができます。

「スポーツ演習」は、実技（運動）を中心に、健康づくりのための具体的な実践方法を学ぶ演習です。取り組むスポーツや内容によってA～Dの4つに分けられていますので、詳細はシラバスを参照してください（A：各種スポーツ、B：競技性の低いレクリエーションスポーツ、C：フィットネス系、D：集中授業）。なお、スポーツ演習はアルファベットが同じでも科目名が異なれば（例えば、「スポーツ演習A 卓球」と「スポーツ演習A ミニバレー・卓球」）、2単位の修得が可能です。詳しくは本冊子の「履修上の注意」を参照してください。（P.38 参照）

抽選科目について

※演習系科目

「健康科学」「スポーツ演習」共に、履修申請した科目の希望者が定員を超えた場合は抽選が行われます。抽選に漏れた場合は空きのある科目にのみ再申請することができます。

※講義系科目

「子どもの保健・食・栄養」は講義系科目のため定員はありません。

評価について

「健康科学」「スポーツ演習」は、実技の技術レベル(運動能力)や上達度は全く関係ありません。全時間出席を前提とし、学習内容の理解度や授業への参加態度(学習意欲・積極性など)を重視します。やむを得ない理由での欠席は、「健康科学」は8回まで、「スポーツ演習」は4回までを限度とし(集中授業を除く)、この回数を超えて欠席をした場合は評価の対象となりません。

※講義系科目

「子どもの保健・食・栄養」は、授業回数の3分の2以上の出席の者を評価の対象とします。

		月	火	水	木	金	土
1時限	前期		健康科学 関口 30名	スポーツ演習C ストレッチ&ヨガ 山田 30名			
	後期			スポーツ演習C ストレッチ&コンディショニング 山田 30名			
2時限	前期		スポーツ演習C トータルフィットネス 関口 30名	健康科学 山田 30名		スポーツ演習C ストレッチ&コンディショニング 小川 30名	
	後期						
3時限	前期			スポーツ演習A バドミントン&卓球など 鈴木・小川 35名			
	後期			スポーツ演習B レクリエーションスポーツ 鈴木 35名			
		集中授業	スポーツ演習D ボディメイクa 鈴木・小川 5名 相模原キャンパス	スポーツ演習D ボディメイクb 関口・渡邊・姪間・小川 12名 杉並キャンパス			

D群 文化・芸術の科目群

造形学科全コースの学生を対象に、それぞれの専門分野で応用可能な知識と能力を修得することを第一の目的に、文化・芸術に関わる以下のような性格をもった多彩な講義科目を配置しています。

1. 美術やデザイン、アートを学ぶ上でもっとも基本となる科目
2. 各コースの専門分野に共通するテーマ性を備えた科目
3. 各分野の専門性を深めるとともに視野を広げる科目
4. 創作活動のバックグラウンドとなる理論構築をサポートする科目

以上の枠組みを背景として構成されたこれらの科目の履修については、学生が自由に選択することで美大生にふさわしい幅広い“美術教養”を学修することはもちろんのこと、組み合わせによって専門性を高めることも可能です。

女子美生として自らをデザインするように、学生一人ひとりがその個性に合わせてカリキュラム作りを行ってください。(なおコースによっては、一部の科目を必修・選択必修として指定していますので注意してください。)

E群 自己を見つめ社会への視野を開く科目群

本学は1900年に「芸術による女性の自立」、「女性の社会的地位の向上」、「専門の技術家・美術教師の養成」を建学の精神として創立されて以来、これらの建学の精神に基づく教育を行ってきました。共通科目の中でこれを特に意識した科目群が、「自己を見つめ社会への視野を開く科目群」(E群)です。

この科目群には、現代社会において女性が家庭人、社会人、そして地球市民として今日の社会にどのような貢献をなすことが可能なのかを考える科目、社会や企業が求める環境・共生・文化を基盤とした地域社会貢献に関する科目などが準備されています。

今日、社会は基礎的・専門的な教養はもちろん、環境や共生などをキーワードに地域社会に貢献できる素養を求めはじめています。そのような素養を身につけるためには、美術に関する専門的な教養をもとに、自らが主体的に活動することが必要となってきます。このことを視野において、学生自らが参画する授業、共生社会と美術との学際的視点の涵養をめざします。

共通科目 開設一覧

	1 年 次			2 年 次			計	
	科 目 名	単 位	形 態	科 目 名	単 位	形 態		
共 通 科 目	A群	哲 学	2	講義	歴 史 学	2	講義	
		音 楽	2		文 学	2		
		△日本国憲法	2		生 命 科 学	2		
		数 理 科 学	2					
		心 理 学	2					
		△教育原論	2					
		△教育心理学	2					
		保 育 原 理	2					
	保 育 の 心 理 学	2						
	B群	△英 語 I	2	演習	△英 語 II	2	演習	2 (外国語科目の単位 満状必修含む)
		英 会 話	2					
		△ フランス語(初級)	2					
		△ コンピュータ入門A	2					
		△ コンピュータ入門B	2					
	コミュニケーション論	2	講義					
	C群	△健 康 科 学	2	演習				2
		ス ポ ー ツ 演 習 A	1					
		ス ポ ー ツ 演 習 B	1					
		ス ポ ー ツ 演 習 C	1					
		ス ポ ー ツ 演 習 D	1					
	子どもの保健・食・栄養	2	講義					
	D群	△西 洋 美 術 史 A(美)	2	講義	△日 本 美 術 史 B	2	講義	6
		△西 洋 美 術 史 B	2		色 彩 学 演 習	2	演習	
		△日 本 美 術 史 A(美)	2		△東 洋 美 術 史	2	講義	
		デ ザ イ ン 史	2		△美 学 概 論	2		
		美 術 解 剖 学	2		現 代 美 術 論	2		
		図 学	2		イ ン テ リ ア 概 論	2		
		色 彩 学	2		広 告 論	2		
		造 形 材 料 学	2		デ ザ イ ン 法 令 論	2	演習	
		写 真 概 論	2		C A D 演 習	2		
					写 真 実 習	2		
				記 号 論	2	講義		
E群	基 礎 学 習 ゼ ミ	2	講義	ジェンダーアート入門	2	講義	4 (基礎学習ゼミ2単位必修含む)	
	ジェンダー論	2		芸術と知的財産権	2			
	国際留学プログラム	2	演習	国際留学プログラム	2	演習		
	サービス・ラーニング	2		サービス・ラーニング	2			
	キャリア形成	2	講義	キャリア形成	2	講義		
	社会福祉学	2		インターンシップA	1			実技
	児童家庭福祉学	2	インターンシップB	2				
	インターンシップA	1	実技	インターンシップC	3			
	インターンシップB	2		インターンシップD	4			
	インターンシップC	3						
インターンシップD	4							

△…教育職員免許状二種免許状(美術)を取得するための必修・選択必修科目。

「英語I」「フランス語(初級)」「英語II」はいずれか必修。「コンピュータ入門A」「コンピュータ入門B」はいずれか必修。

「西洋美術史A」「西洋美術史B」はいずれか必修。「日本美術史A」「日本美術史B」はいずれか必修。

(1年次に美術コースに所属し、2年次にデザインコースに変更した場合は「日本美術史A・B」いずれも必修。)

(美) …美術コース必修科目

<履修上の注意>

B群

●外国語科目

卒業時に必要な単位数

外国語科目の卒業必要単位は2単位です。1年次に、外国語科目の中から最低1科目を履修してください。(外国語科目は演習科目・通年授業なので、授業1コマ=2単位となります。)

履修要領

外国語科目の授業は、原則、1クラス、定員30名(英会話は定員20名)で行います。

「英語Ⅰ」を履修する1年次の学生は、通常の履修登録画面から登録を行ってください。

「英語Ⅰ」以外の外国語については、Web抽選にて履修者を決定します。指定の期日までに、ポータルサイトで抽選希望登録をしてください。

日本語Ⅰ・Ⅱ

「日本語Ⅰ・Ⅱ」は外国人留学生のための科目であり、卒業に必要な外国語科目の単位として認められます。講義を聴いたり、レポートを書くのに役立つ科目ですので、外国人留学生はなるべく「日本語Ⅰ・Ⅱ」を履修するようにしてください。

なお、日本語Ⅰ・Ⅱについては女子美術大学単位互換科目P.25参照。

女子美術大学(杉並校舎)開設 外国語科目

女子美術大学・女子美術大学短期大学部単位互換制度(P.25参照)に基づき、女子美術大学(杉並校舎)開設の「中国語」「ドイツ語」「イタリア語」を履修することができます。女子美術大学学生の履修を先に確定し、残席がある場合のみ、4月8日(金)以降先着順にて履修を許可します。

C群

●「健康科学」を履修希望の場合

通年開設科目です。

後期に開設される専門選択必修科目と重複しないように注意してください。

◇Web抽選(P.64参照)

●「スポーツ演習」を履修希望の場合

前期・後期に各1科目、計2科目履修登録してください。

アルファベットが同じでも科目名が異なれば(例えば、「スポーツ演習C ストレッチ&ヨガ」と「スポーツ演習C ストレッチ&コンディショニング」)同年次に修得することができます。

・履修人数に制限がありますので、Web抽選を行います。ポータルサイトで抽選希望の登録をしてください。抽選に漏れた場合は、空きのある科目にのみ再申請することができます。

・「スポーツ演習D(ボディメイクa)」は相模原キャンパス、「スポーツ演習D(ボディメイクb)」は杉並キャンパスでの実施です。開講場所に注意してください。また、卒業年次に履修する場合は、C郡の卒業所要単位を他の科目で満たしたうえで履修してください。なお、この2つは科目名が異なります。

◇演習系科目の抽選方法

Web抽選(4月7日(木)10:00まで)で履修時限が決定しますので、ポータルサイトで抽選希望の登録をしてください。

D群

● 「色彩学演習」

2年次に「色彩学演習」を履修する場合は、1年次で「色彩学」を履修しておいてください。

専攻科科目 科目等履修

- 履修する年度の4月1日現在で満22歳以上の造形学科生について専攻科選択科目の「臨床美術」（夏期集中講義予定）を科目等履修生として履修することができます。履修が決定した段階で約20,000円程度（テキスト代および資格認定費用等）別途かかります。「臨床美術」は単位修得と同時に「臨床美術士」5級資格を取得することができます。なお、修得単位は造形学科の卒業要件単位には含まれません。造形学科卒業後、専攻科に進学した場合は、既修得単位として専攻科の単位に認定します。希望者は履修登録期間中に教育支援センターにて申込手続きをしてください。